

氏名	田中広美	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	看護技術、看護教育、看護実践				
学位	博士(看護学)				
学歴	2019.3 札幌市立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了				
経歴					
所属学会(役職)	日本看護科学学科、日本看護研究学会、日本看護学教育学会、日本看護管理学会、日本看護歴史学会、日本障がい者スポーツ健康科学看護学会				

### 【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1						
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	札幌市の病院における研修実施状況と中堅看護師の受講実態-看護コンソーシアムにおける中堅看護師支援に向けて-	共著	あり	札幌市立大学研究論文集,13(1),27-36.	○矢野祐美子,樋之津淳子,藤井瑞恵,田中広美,樋口春美,勝見真澄,中村恵子	2019年7月
2	障がい者スポーツ大会における看護職の活動の現状と課題に対する文献検討	共著	あり	日本障害者スポーツ健康科学看護学会誌	○吉村基宣、田中広美、鈴木康美、徳本弘子	2020.3掲載予定
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	看護学生時代の学び・経験が学校から仕事への移行に与える影響;2年目看護師のプロアクティブ行動に着目して	共同		第23回日本看護管理学会学術集会(新潟市)	○太田雄馬、鈴木康美、徳本弘子、田中広美	2019.8.23
2	新人看護師の職務遂行上の困難とレジリエンスの特徴	単独		Eafons2020(タイ国)	○田中広美	2020.1.10.11
3						
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			看護師の職務継続に関わるレジリエンス向上のための支援プログラムの構築	研究代表者	平成30-平成33
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護方法Ⅰ		15	1年生を対象に後期に講義、演習、グループワークを行った。ベッドメイキングや、バイタルサイン測定、感染予防など体験学習を交え基本的な看護技術習得を支援した。		
2	看護方法Ⅱ	○	30	2年生を対象に講義、演習、グループワークを行った。体位変換や移動、清潔の援助、排泄の援助など体験学習を交え基本的な看護技術習得を目指した		

3	看護方法Ⅲ		15	2年生を対象に講義、演習、グループワークを行った。診療の補助業務に関する基本的技術を体験学習を交え基本的な看護技術習得を目指した
4	看護方法Ⅳ		15	2年生を対象に講義、演習、グループワークを行った。ヘルスアセスメントや系統的フィジカルアセスメントの基本的な看護技術習得を目指した
5	看護学教育論		15	博士前期課程の学生を対象に、継続教育、キャリア教育、講義指導案の作成について講義、ディスカッションを行い能動的学習を行えるよう支援した

(2)演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1				
2				
3				

(3)実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ		2019.5.21,23,24,28 (4日間)	3年次生6名を対象に、成人看護学領域の病欠者の代替要員として実習指導に関わる。臨地において実習が円滑に行くように主となる教員と連携しながら関わった。
2	ヒューマンケア体験実習		2019.8.2.~2020.9.2	1年次生を対象に、老健施設2か所を担当し、巡回指導を実施し、期待した学習効果を上げることができた。
3	総合実習		2019.4.10~2019.8.5	4年次生4名を対象に、内科病棟を使用して3週間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
4	基礎看護学実習Ⅱ		2019.10.15~10.25	2年次生を対象に、外科病棟を使用して6週間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
5	基礎看護学実習Ⅰ		2019.2.18~2020.2	1年次生を対象に、病棟および秒施設の見学実習、学内実習を1週間行い、期待した学習効果を上げることができた。

(4)論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019.4.1~2019.12	主指導	3 副指導 名
2	大学院博士前期課程の研究ゼミに参加	2019.1~2020.3	主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
3			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名

(5)その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	基礎看護学領域 越谷市立病院実習調整窓口担当	2019.4.1~20120.3	領域における実習の窓口として施設と実習科目との調整役を行い円滑な実習に努めた(総合実習、基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ)	
2	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会第2回学術集会の実行委員	2019.4.~2019.8	本学で開催する学会の実行委員として活動	
3				

4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第2回日本障がい者スポーツ健康科学看護学会学術集会開催	埼玉県立大学看護学科 徳本弘子	東京2020パラリンピックに向けて~障がい者スポーツの発展に看護ができること~	2019.9.15
2				
3				

(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
2				
3				

(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				

(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	実習計画調整会議		2019.4.1~ 2019.12
2	学科等における委員会等	卒業研究運営担当		2019.4.1~ 2019.12
3	学科等における委員会等	国家試験対策プロジェクトメンバー		2019.4.1~ 2019.12
4	学科等における委員会等	高校出張講座		2019.11.21
5	学科等における委員会等	2年次担任		2019.4.1~ 2019.12
6	学科等における委員会等	大学センター入試担当		2019.1.19
7	学科等における委員会等	総合実習領域運営担当		2019.3~2019.12
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
8. 特記事項				